

# 彦根環状線あんしん歩行空間だより

VOL.3

2010.3

## 彦根環状線バリアフリー化工事検証会

### 意見交換会の様子



障害者から点字設置について意見が出されているところです。

視覚障害者からエコーゾーンの設置は大変ありがたいとの意見が出されました。



日時 平成22年3月11日(木)

13:30~16:30

場所 ひこね燦ぱれす

### 検証会参加メンバー

- ・ 脊髄損傷者協会
- ・ 滋賀県立盲学校
- ・ 滋賀県立視覚障害者センター
- ・ 視覚障害者福祉協会
- ・ 城南学区社会福祉協会
- ・ 彦根警察署交通課
- ・ 彦根市道路河川課交通対策課
- ・ 湖東土木事務所



点字は連続性を保つようとの意見が出されました。

障害者代表から彦根環状線バリアフリー化工事完成は他路線への模範となる良好な完成事例として高い評価を頂きました。



車椅子は急な片勾配が最も危険な一つです。

### 議事録

件名 平成21年度 彦根環状線バリアフリー化工事検証会

日時 平成22年3月11日(木) 13:30~

場所 彦根燦パレス: 2階会議室

出席者

- ・ 滋賀県脊髄損傷者協会 2名
- ・ 滋賀県視覚障害者福祉協会 1名
- ・ 滋賀県視覚障害者センター 1名
- ・ 城南学区社会福祉協議会 1名
- ・ 滋賀県立盲学校 長尾教諭 2名
- ・ 彦根警察署交通規制課 1名
- ・ 彦根市役所道路河川課 2名
- ・ 彦根市役所交通対策課 1名
- ・ 湖東土木事務所 所長 次長 2名

道路計画課 4名

管理調整課 計画調整(事務局) 2名

## 内 容

所長挨拶：暖かい時期ということで3月に計画しましたが、昨夜から久しぶりに雪がちらつき、肌寒い中お集まりいただきありがとうございます。また、日頃から土木事業にご理解ご協力を頂きお礼を申し上げます。

本日は、彦根環状線バリアフリ - 化工事検証会にお集まりいただいておりますこと、御礼申し上げます。

バリアフリーにつきましても、全国的に事業展開されており、西暦2000年に交通バリアフリ - 法が施行され、人の移動に関して利便性・安全性の向上を目的として、駅或いはバスなどの交通機関や道路計画など、市町村が作成するバリアフリ - 基本構想に基づき道路や駅前広場や交通信号機などの改良を進めているところです。2006年にバリアフリ - 新法に法律が改正され、交通施設だけでなく建物にも導入していこうと云うことになっています。対象者も身体障害者から障害者全般にわたり、利用の観点からバリアフリ - を進めることに改められています。

彦根市でも、2003年に彦根市の交通バリアフリ - 基本構想が策定され、現在、県と市あるいはバス運行会社などがそれぞれ事業を進めてられ、まだまだ道半ばでございます。

今回会議の特徴は3つあります。一つ目は、公共事業を進めるにあたり、道路利用者や警察だけでなく地域住民から意見を聞き取りながら計画作りに取り組んできたこと。二つ目は、バリアフリ - であり、今回のように障害者の方に直接参加していただき検証を行ってきていること。3つ目の特徴は、工事完了後の検証会に取り組んだと云うこと。私共は作って管理をするのが普通の業務であり、再度利用者の方々の意見を聞き、次の事業に反映させる形で本日の検証会をさせていただいて、今後の参考にしていきたいと考えております。

バリアフリーの話に戻しますが、彦根では「あんしん歩行エリア」として、都心部では彦根駅周辺の城東地区と、南彦根駅周辺の城南地区の2箇所を順番に歩道なり道路の整備を進めていこうとしているところです。特に城南地区では県立盲学校や福祉センターがあり、バリアフリ - の必要性が非常に高く、注目されているところです。

国では民主党が「コンクリートから人へ」という言葉で政権運営されているところで、我々もすべての人が安心して利用できる道作りを進めていきたいと思っております。

本日は現場も含めて建設的な意見をいただきたいと思っております。

自己紹介：出席者各自照会。

資料確認：点字資料の有無等説明。

事業経過ならびに行動予定

次長：この検討会は公開であることのご了解をいただきたい。

資料【第1回、第2回 彦根環状線 整備検討会のおさらい】により説明。

平成17年度に整備検討会を2回開催した。

第1回検討会では、歩道の横断勾配がきつい等の意見があった。総括として、車道部分の路面を高くすることで、歩道との段差を無くすことになった。

第2回検討会意見は、具体的な対策方針を決めた。車道部分をかさ上げし、波打ち歩道の解消、側溝の暗渠化を行って、障害者の方だけでなくどなたでも通行しやすい歩行空間に改修していくこととした。

工事の第一段階として、戸賀町西交差点等それぞれの交差点をH18年度から着手し、第2段階でH19年度からH20年度に交差点間を工事した。仕上がって1年以上が過ぎ、使用されている皆様のご意見をうかがうため検証会を開催することとした。

本日の行動予定を資料により説明。燦パレスを出たところから盲学校バス停まで、徒歩で約500m間の検証をお願いします。

#### バリアフリ - 工事の説明（現地検証後）

維持補修担当：資料により説明。

各交差点等の工事前後状況について説明。

#### 意見交換

次長：各団体意見ということではなく、皆さんが感じられたことを話していただきたい。

Iさん：虎姫町から来た、本来あまり通らない道路ではあるが、非常に良くできているというのが総論です。

障害者によってそれぞれ障害が違うことを知っておいてほしい。

車椅子によっては前輪が小さいので側溝横断箇所には1枚でいいので細目グレーチングを入れてほしい。片勾配が少ないのでありがたい、両手でこぎやすい。

点字ブロックに自転車が止めてあったり、道路にはみ出して看板や商品が置いてある場合がある、良いものを作ってもモラルが伴っていない。

Kさん：4～5年前のユニバ - サルデザイン懇話会で議論材料として当箇所が取り上げられた、当時の問題が全て解消されている。道路を見るとそこに住む人、役所の人レベルまで見えると思う。広がった歩道へ車の乗り入れはやめてほしい。

今日、見た中で小泉町交差点の丸善さん側は非常に良くできている、ねじれが解消されフラットになっている、お礼を言いたい。

Oさん：使う側のマナ - として、特に自転車がスピードを出すようになった、歩行者と自転車を分けてほしい。点字ブロックは目印として歩いている、弱視の立場としては見やすくなった。学校の立場としては、通学路として安心である、スコトゾ - ンもあり安心につながっている。

Nさん：スコトゾ - ンは画期的、横断歩道を安心して渡れるようになった。

音声信号の音が渡る方向と一致してない交差点がまだまだ多い、燦パレスを出て右の交差点は、鳴き交わし式(ぴよぴよぴよ)に変わったようだがス° - かの位置を考えてほしい。交差点の形にも限界があることを理解した、交差点をデザインから見直す機会があれば停止線位置など考えてほしい。

燦パレスから環状線に出て、向かい側、横断歩道がない、点字ブロックをつないでほ

しい。右に行くと点字ブロックが微妙に曲がっている、生け垣で曲げて良いのか？

Kさん：とても歩きやすい、良くなった。バスは降りられても乗れないのが課題、自転車も危険である。

今回の区間ではないが、カメラ北村前に音声信号がほしい。

白杖が入らないグレ-チンを使用してほしい。

Mさん：湖東地域の県道はスコ-ツ'-ソがある。スコ-ツ'-ソは車の通る部分でもある、小泉交差点(びわ銀前)では点の取れているところがある。

民家から出てくるような小さい道路が大きい道路と交わる場合も歩道扱いとしてほしい。

Nさん：転落防止フェンスを付けていただきたい、平面図 24 番(今日歩いた 4 番の向かい側)以前に車が落ちたことがある。

Oさん：カメラ北村前は、3 / 9 から泣き交わし式を運用開始した。(警察)

小泉町中交差点は、位置的な問題、もう一度確認する。

スコ-ツ'-ソは、現在のところ道路管理者の方に設置していただいている。

自転車と歩道分離については、順次進めている、条件は幅 3 m 以上の歩道。

Nさん：横断歩道までの誘導ブロックがあってこそスコ-ツ'-ソが生きてくるのか。

長尾：その通り、誘導がないとスコ-ツ'-ソがどこかわからないので危険。

Iさん：生け垣については、事前に持ち主と協議している。一気に刈り込むと枯れるので、毎年数センチ刈り込んで後退させてから点字ブロックを引き直す。この生け垣は、彦根市から存在価値を評価されている。

次長：転落防止柵について意見交換を願う。

どの位の段差なら許容可であるか。

Kさん：2cm までである、30cm もあると怖い。

Oさん：水路の畑側に縁石を設けるだけで効果あると思う。

所長：コンクリートの笠上げなどの対応が必要だと思う。

Nさん：ポールでは隙間があり危険防止にならない、さっきの生け垣の反対側のポール。

次長：ポールについては、対応を考えたい。

バス停のブロックについてはどうか。

Kさん：バス会社と話さないと答え出ない。

点字ブロックを付る、バスの止まる位置を決める等必要。

所長：バス会社と接触は可能である。

Oさん：洋服の青山の前に横断歩道と信号を付けていただければ、反対側のバス停にすぐに行ける。現状では、盲学校から来るとかなり遠回りしないと反対側のバス停行けない。

横断歩道橋も考えられる。

次長：個人の出入り口は歩道をつなげている、交差点形式で歩道を巻き込むのは県道と市道との交差点。細い市道は交差点形式にしていない。

KさんNさん：足で確認で出来る連続性のあるものがあれば良い。

彦根市：平成 22 年度に環状線から南彦根駅に向かって整備を予定している。このような検討会で事前に話しする。

Oさん：バス停を降りたら縁石がある等は、バス会社に伝える。

放置自転車は撤去しているし、駅周辺では禁止区域をきめている、委託で指導員を配置している。

Nさん：交差点コパ<sup>o</sup>外化で横断歩道が前に出ると 4 隅の点字を曲げることになる場合がある。

Kさん Iさん：車椅子マ - ク駐車場に健常者が止める、モラルの向上が必要。

次長：今後の事業予定について、城東区域と城南区域を結ぶ神郷彦根線等。

Kさん：河瀬や稲枝の事業の状況は。

Iさん：河瀬駅前彦根工高に向かって。稲枝は稲枝沢線(フロント<sup>o</sup>マ<sup>o</sup>ト前)予定、地形測量中。

これから設計時点でご意見を伺いたい。

次長：本日のまとめ。

車椅子の方：相対的に使いやすい道になり良かった。

モラルが無い・マナ<sup>o</sup>-が悪いについて対策必要。

視覚障害者の方：おおむね改善された。

スコ<sup>o</sup>トゾ<sup>o</sup>-の連続性問題やバス停位置、交差点での横断歩道位置の改善必要。

音声案内は実際の運用にあたり現場の改善が必要。

今までは、やりっ放しの傾向があったが、今回の検証で評価いただき実感したことや、効果に気が付いたことを、今後に生かしていきたい。

I 課長：閉会挨拶。

皆様の貴重なご意見を参考に、引き続き検討を加え順次整備を進めていきたい。

以上、閉会